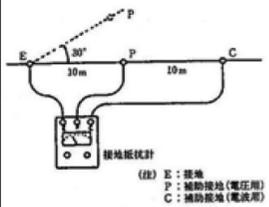


49 公園緑地

工 種	種 別	試験(測定)項目	試験(測定)方法	規 格 値	施 工 管 理 基 準		摘 要
					試験(測定)基準	管 理 方 法	
7-1-5-2 植栽基盤工 材 料	土壌改良材	泥炭系・木質系土 壌改良材分析試験		特記仕様書によらない場 合は、第7編公園緑地編 7-1-5-2 材料 に よる。		任意の様式に取りまとめ る。	
7-2-3 植 栽 工	客 土	植栽用客土の粒度 特性	JIS A 1204 土の粒度試験方法 JIS A 1202 土粒子の密度試験方 法に準拠	第1編共通編 1-3- 3-17-2 材料 によ る。	<ul style="list-style-type: none"> ・土取り場毎に、サンプル を採取して試験を行う。 ・粒度試験はふるい分けと 比重浮標による測定方法 により行い、粒度特性の 判定は、国際土壌学会の 粒径区分で行うこと。 ・pH測定の方法は、pH (H₂O) 値の場合で行う こと。 	一覽票に取りまとめる。 なお、個々の試験デー ターも任意の様式で添付 すること。	
		植栽用客土のpH測 定	JSF T7 土のpH試験に準拠				
	芝 工	良質芝の品質試験 種子の発芽率試験	生産者等の品質管理試験	第1編共通編 1-2- 11-3 種子 による。	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者等の試験成績書に よることができる。 ・農産種子検査報告書によ る。 	任意の様式に取りまとめ る。	
7-3-6 電気設備工	照明設備工	絶縁抵抗試験	絶縁抵抗計による絶縁抵抗測定 試験とする。 (1) E (接地側) と L (線路 側) の両リード線を短絡し て指針が0になるか、ま た、両端間を開いて無限大 になるかどうかを確かめ る。 (2) 絶縁抵抗計のE端子を大地 線に接続し、L端子を測定 する回路の遮断器の2次側 に接続し、測定する。 (3) ケーブルの距離が長い場合 は、指針がなかなか落ち着 かず、指針が上昇して落ち 着くまで数秒かかるので、 注意する。	対地電圧が150V以下の場 合は、0.1MΩ以上。 対地電圧が150Vを越え 300V以下の場合 は、 0.2MΩ以上。 通常、子新設工事の場合 の絶縁抵抗は、100MΩ以 上となることが望まし い。 この値より低い場合は、 工事監督員の承諾を得る こと。	開閉器又は遮断器で区切られ ている回路毎に、点灯の状態 になるように、各照明灯の遮 断器を閉にして測定する。	任意の様式に取りまとめ る。	絶縁抵抗計は、JIS C 1302 絶縁抵抗計 (電池式) による ものとする。

49 公園緑地

工 種	種 別	試験(測定)項目	試験(測定)方法	規 格 値	施 工 管 理 基 準		摘 要
					試験(測定)基準	管 理 方 法	
7-3-6 電気設備工	照明設備工	接地抵抗試験	測定方法は下記による。  <p>(注) E: 接地 P: 補助接地(電圧用) C: 補助接地(電流用)</p> <p>接地抵抗計の測定</p> <ol style="list-style-type: none"> E、P、Cを上図のように配置する。なお、E、P、Cは、極力直線上に 接地するが、E-CとE-Pの角度は30° までとする。 バッテリー、動作状態を確認し、切り替えスイッチを測定抵抗値に合わせて読みとりやすい倍率レンジに合わせる。 電源スイッチを押してメーターの指針の示す数値に倍率をかける。 	D種接地工事 100Ω 以下	接地工事を施した箇所全てについて、測定する。	任意の様式に取りまとめる。	接地抵抗計は、JIS C 1304 接地抵抗計によるものとする。地面が乾燥している場合でも、規格値以下になることを確認すること。
		点灯試験	分電盤を接地しない場合 自動点滅器による点灯試験		正常に点灯・消灯するか。		
		分電盤を接地した場合 手動による点灯試験 自動点滅器による点灯試験		電磁開閉器、タイマー等の正常動作を確認する。			

49 公園緑地

工 種	種 別	試験(測定)項目	試験(測定)方法	規 格 値	施 工 管 理 基 準		摘 要
					試験(測定)基準	管 理 方 法	
7-3-9 遊戯施設整備工	木材防腐処理	防腐剤の注入量及び圧力	JIS A 9002 木質材料の加圧式保存処理方法の規定による。薬剤は、JIS K 1570 木材保存剤及び JIS K 1571 木材保存剤の性能試験方法及び性能基準に適合すること。		製造所等の試験成績書による。	<ul style="list-style-type: none"> 任意の様式に取りまとめる。 自記記録結果表を添付すること 	製品仕様証明書 (木材、鋼材)
	鋼材等	鋼材等の品質試験	JIS G 0303 鋼材の検査通則ほか。		製造所等の試験成績書による。	任意の様式に取りまとめる。	
7-3-12 建築施設組立設置工	木材防腐処理	防腐剤の注入量及び圧力	JIS A 9002 木質材料の加圧式保存処理方法の規定による。薬剤は、JIS K 1570 木材保存剤及び JIS K 1571 木材保存剤の性能試験方法及び性能基準に適合すること。		製造所等の試験成績書による。	<ul style="list-style-type: none"> 任意の様式に取りまとめる。 自記記録結果表を添付すること 	製品仕様証明書 (木材、鋼材)
	鋼材等	鋼材等の品質試験	JIS G 0303 鋼材の検査通則ほか。		製造所等の試験成績書による。	任意の様式に取りまとめる。	
7-4-3 グラウンド・コート舗装工	表層材料 (粘性土)	最大乾燥密度の測定	JIS A 1210 突き固めによる土の締固め試験方法	特記仕様書による。	<ul style="list-style-type: none"> 採取地毎に1回。 土質工学会基準による分類で行う。 	一覧表に取りまとめる。	
		骨材のふるい分け試験	JIS A 1204 土の粒度試験方法				
		土の粒度特性	JIS A 1202 土粒子の密度試験方法				
		土の含水量試験	JIS A 1203 土の含水比試験方法		<ul style="list-style-type: none"> 採取地毎に1回。 生産者等の試験成績書によることできる。 	一覧表に取りまとめる。	
		土の液性限界試験	JIS A 1205 土の液性限界・塑性限界試験方法				
		土の塑性限界試験	JIS A 1205 土の液性限界・塑性限界試験方法				

49 公園緑地

工 種	種 別	試験(測定)項目	試験(測定)方法	規 格 値	施 工 管 理 基 準		摘 要
					試験(測定)基準	管 理 方 法	
7-4-3 グラウンド・コート 舗装工	表層材料 (全天候系)	表層材の品質試験		特記仕様書による。	製造所等の試験成績書による ことができる。	任意の様式に取りまとめる。	
	中層・下層材料 (切込砂利・火山砂利)	最大乾燥密度の測定	JIS A 1210 突固めによる土の締固め試験方法(試験方法E)	第1編 共通編 1-2-5-8 路盤用材料による。	・採取地毎に1回。 ・生産者等の試験成績書による ことができる。	一覧表に取りまとめる。	
		修正CBRの測定	舗装調査・試験法便覧 路盤材料の修正CBR試験方法				
		骨材のふるい分け試験	舗装調査・試験法便覧 骨材のふるい分け試験方法				
		骨材の洗い試験	骨材の洗い試験方法				
		粗骨材のすり減り試験	JIS A 1121 ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法				
		骨材の安定性試験	JIS A 1122 硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験方法				
		凍上試験					
		強熱減量試験					
	中層・下層材料 (火山砂利)	透水試験	JIS A 1218 土の透水試験方法	特記仕様書による。	・採取地毎に1回。 ・生産者等の試験成績書による ことができる。	任意の様式に取りまとめる。	
凍上抑制層材料	骨材の洗い試験	骨材の洗い試験方法	第1編 共通編 1-2-5-7 凍上抑制層用材料及びしゃ断用材料による。	・採取地毎に1回。 ・生産者等の試験成績書による ことができる。			
	火山灰洗い試験	火山灰洗い試験方法					

49 公園緑地

工 種	種 別	試験(測定)項目	試験(測定)方法	規 格 値	施 工 管 理 基 準		摘 要
					試験(測定)基準	管 理 方 法	
7-4-3 グラウンド・コート 舗装工	凍上抑制層材 料	火山灰強熱減量試験	火山灰強熱減量試験方法	第1編共通編 1-2-5-7 凍上抑制層用材料及びししゃ断用材料による。	・採取地毎に1回。 ・生産者等の試験成績書によることができる。		
		火山灰の凍上試験	土の凍上試験				
7-4-3 グラウンド・コート 用舗装工	表層施工時 (粘性土)	締め固め度の試験	現場密度測定方法	緑化部 70~90% 非緑化部 90%以上	A類 300㎡に1箇所。 B類及びC類 1,500㎡毎に1箇所。	任意の様式に取りまとめる。	
		硬度の測定	プロクターニードル試験 (貫入深1インチ、径6.5mm)	クレイ系舗装 陸上競技場 60~100 lb 野球場 30~ 60 lb テニスコート 40~100 lb	随 時		
中層・下層施工 時(切込砂利・ 火山砂利)	中層・下層施工 時(切込砂利・ 火山砂利)	締め固め度の測定	現場密度測定方法	第1編共通編 1-3-6 一般舗装工による。	A類 300㎡に1箇所。 B類及びC類 1,500㎡毎に1箇所。 搬入時1回。その後、観察により異常が認められた時、随時。	管理図又は結果表に取りまとめる。	A類 テニスコート、 ゲートボール場 等 B類 ラグビー場、 サッカー場等 C類 野球場、陸上競技場等
		骨材のふるい分け 試験	舗装調査・試験法便覧 骨材のふるい分け試験方法			管理図又は結果表に取りまとめる。	
		骨材の洗い試験	骨材の洗い試験方法			管理図又は結果表に取りまとめる。	
	中層施工時	締め固め度の測定	舗装調査・試験法便覧 締め固めた瀝青混合物の密度試験 方法		500㎡に1箇所。	管理図に取りまとめる。	全天候系舗装の中層(細粒度、粗粒度アスコン)

49 公園緑地

工 種	種 別	試験(測定)項目	試験(測定)方法	規 格 値	施 工 管 理 基 準		摘 要
					試験(測定)基準	管 理 方 法	
7-4-3 グラウンド・コート用舗装工	凍上抑制層施工時	締め固め度の測定	現場密度測定方法	90%以上	A類 300㎡に1箇所。 B類及びC類 1,500㎡毎に1箇所。	管理図又は結果表に取りまとめる。	A類 テニスコート、 ゲートボール場 等 B類 ラグビー場、 サッカー場等 C類 野球場、陸上競技場等
		骨材のふるい分け試験	舗装調査・試験法便覧 骨材のふるい分け試験方法		搬入時1回。その後、観察により異常が認められた時、随時。	管理図に取りまとめる。	
		骨材の洗い試験	骨材の洗い試験方法			・管理図又は任意の結果表に取りまとめる。 ・記事欄に平均値を記入する。	
		球体落下試験	球体落下試験方法		A類は500㎡毎に、B類及びC類は1,500㎡毎に1回。ただし、1回の測定個数は10個とし、上限、下限の2個ずつを取り除き、6個の平均値による。		
	路床仕上げ	強度の均一性	ブルーフローリング	視察判断	全面にわたり3回程度行う。		不良箇所は、監督員と協議の上、対策を講じる。